

自治体の紹介

- 香川県の中部に位置し、南は讃岐平野、北は瀬戸内海に接している
- 古くから港町として発展し、四国最初の鉄道が開通したことで交通の要衝として発展
- 少林寺拳法の発祥の地であり、総本山である「**金剛禅総本山少林寺**」が存在
- 町花、町木の「桜」がテーマの「**さくらまつり**」や、夏の風物詩でもある「**たどつ港まつり花火大会**」を開催
- 風土が育んだ様々な特産物(ぶどう、白方カキ、オリーブ etc.)
- 民間団体等によるまちづくりの取組みが盛んで、官民のメンバーで組織する「**多度津町まねきねこ課**」が、タウンプロモーションのプロジェクトを企画・推進している



現状の課題

- 「地域力」の中心となる25歳～39歳の社会減 ⇒ 令和4年度で**-84人**
- 町内での観光・消費活動が少なく、消費が町外へ流出している
⇒ 環境省「地域経済循環分析システム2018年版」の結果によると、**消費が51億円流出**。
- コロナ禍により、観光客が減少している
⇒ 観光入込客数がR1の95,100人から、**R3には21,300人**まで落ち込み、R4には60,050人まで回復したが、R1時点には及ばない状況

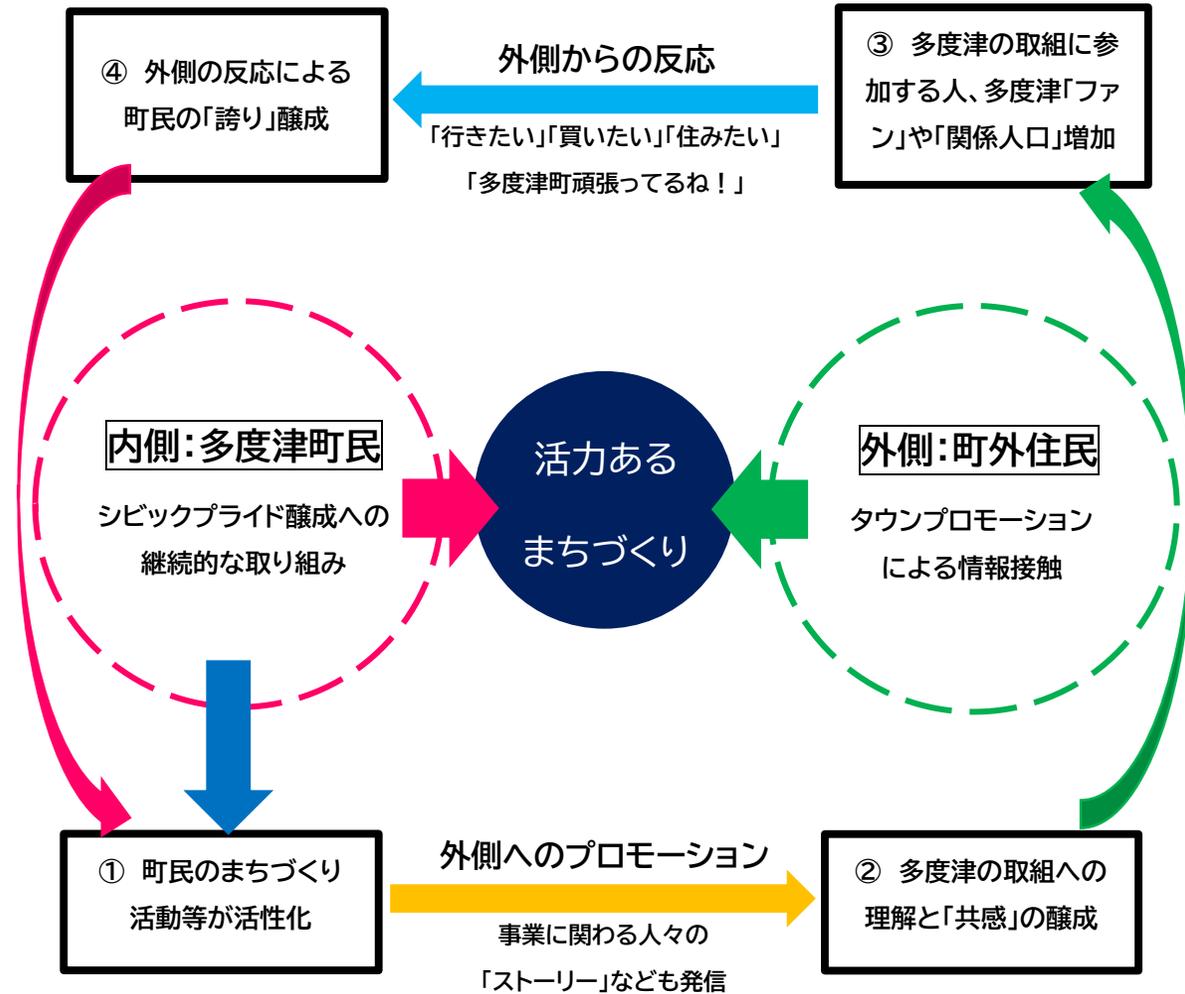
事業の目的

- 交流人口の増加 ⇒ 関係人口の創出
 - 町への愛着・誇り(シビックプライド)の醸成による好循環の創出
- ⇒**まちの活力維持・にぎわいの創出**

事業内容

- タウンプロモーション事業の推進
「タウンプロモーション戦略」とマーケティング理論に基づいた「魅力づくり」と「情報発信」
- 担い手育成事業
情報発信スキルを習得する場づくりや、本事業に主体的に関わる仕組みづくり
- シビックプライド醸成
まちのコイン「どつつ」等のツールを活用し、シビックプライド醸成の新たな仕組みづくり
- インフルエンサー等との連携
「地域資源」「人」「活動」とインフルエンサーを繋げて効果的なプロモーション
- 第3次タウンプロモーション戦略の策定
R7以降の取組みの指針となる戦略の策定

【シビックプライド醸成とタウンプロモーションの連携・循環イメージ】



得られる
成果等

内側(地域資源・人・活動等)と外側(交流人口や関係人口・民間の資金やノウハウ等)が上手く融合し、好循環が生まれることで、**持続可能な「活力あるまちづくり」**が生まれる。

⇒官民連携や町外から関わることができる土壌は既にできている。

寄附の
メリット

- 町役場だけでなく、「多度津町まねきねこ課」をはじめ、地域の団体等とも広く連携できます。
- 資金だけでなく、ノウハウを提供いただけることにより、新たな事業展開に繋がります。
- 町と多度津町まねきねこ課が、貴社との連携に関して、広く紹介させていただきます。



まねきねこ課キャラクター
ちよいた



お問い合わせをお待ちしております

【お問い合わせ先】

多度津町政策観光課

TEL:0877-33-1116

MAIL:seisaku@town.tadotsu.lg.jp

